



2020シーズン 新体制・新加入記者会見

2020年1月13日
株式会社カマタマーレ讃岐

クラブ理念のご説明

株式会社カマタマーレ讃岐 代表取締役社長 池内 秀樹



2020シーズン 新体制・新加入記者会見

クラブ理念 2020・中期経営方針

私たちが目指すクラブ

2020年1月13日

株式会社カマタマーレ讃岐



資料構成

1) 「クラブ理念」

- ①コーポレート・スローガン
- ②ミッション：私たちの存在意義
- ③ビジョン：私たちが目指す姿
- ④私たちが大切にしている12の価値

2) 2020シーズン 経営方針

3) 中期経営方針

(2022シーズンの到達点)

補足1) 理念づくりの背景

【創業、成長、停滞、変革】

【文化的背景】

補足2) 2019アカデミー活動レポート

◇ユース (U-18)

◇ジュニアユース (U-15)

◇カマタマーレサッカースクール

◇アカデミースポーツキャラバン

◇アカデミー運動部活動指導

補足3) 2019ホームタウン活動レポート

◇アバターを通じた観戦体験



1. クラブ理念 【コーポレート・スローガン】

ALL FOR SANUKI

～讃岐のために全員で 讃岐のために全力で～

- 地域密着型クラブとして、クラブに関わるすべての人たちと一緒に、讃岐のために全力で取り組みます。



1. クラブ理念 【ミッション: 私たちの存在意義】

- カマタマーレ讃岐は、「地域密着型クラブ」「地域に根差した育成型クラブ」として、クラブに関わるすべての人たちを大切にして、地域の人たちと感動を共有します。



1. クラブ理念 【ビジョン:クラブが目指す姿】

- 地域の人たちに支えられていることに感謝し、地域の人たちと感動を共有するクラブになります。
- 地域の人たちが集う拠点となり、人のつながりを増進し、幸せを創造するクラブになります。
- 風光明媚な香川県の魅力を世界の方々にお伝えし、交流人口を増やし、地域活性化に貢献するクラブになります。
- 地域の夢を大きく膨らませるために、子供たちの夢を育み、その実現に貢献できるクラブになります。
- これらを実現するため、私たちは学び続けるクラブになります。



1. クラブ理念 【私たちが大切にしている12の価値】

- 「夢」：常に夢を語り、夢を追い続けよう。
- 「謙虚」：夢を叶えるために、今の自分を知る謙虚さを持つよう。
- 「目標」：夢を叶えるために、目標を掲げ、期限を決めて現在地との差を埋めよう。
- 「学び」：夢を叶えるために、すべての経験から学び、成長しよう。
- 「育てる」：夢を叶える真のリーダーになるため、人を育てよう。
- 「オープンマインド」：夢を叶えるために、外の意見に耳を傾け、積極的に取り入れよう。
- 「思いやり」：夢を叶えるために、仲間を思いやり、仲間のために貢献しよう。
- 「郷土愛」：夢を叶えるために、この地を愛し、この地で愛されるよう存在になろう。
- 「誇り」：夢を叶えるために、この地を誇りに思い、この地の誇りとなるよう行動しよう。
- 「信頼」：夢を叶えるために、常に地域の人たちと対話し、信頼される存在になろう。
- 「本物」：夢を叶えるために、最高の準備をしよう。そして本物を届けよう。
- 「感動」：夢を叶えるために、全力で取り組み、想像を超えた感動を届けよう。



2. 2020シーズン 経営方針

クラブを再生し、成長基盤を整える

【事業領域】

- ・ 平均入場者数
3000人へ回復
- ・ ホームタウン、
広報活動の充実
- ・ 「お客様最優先」
の習慣化



【チーム・アカデミー】

- ・ カマタマーレ讃岐が
目指すサッカーの確立
- ・ スクールの拡大、充実

【事業領域】

- ・ 選手、スタッフが積極的に地域に溶け込み、より多くの方にカマタマーレ讃岐を知っていただきます。
- ・ スポンサー様、行政様の先にいらっしゃるお客様、生活者の方々に想いを馳せ、より多くの方に共感いただける活動に取り組みます。

【チーム・アカデミー】

- ・ 最後まであきらめず、全力を尽くすサッカーで、観てくださる方々に感動をプレゼントします。



3. 中期経営方針（2022シーズンの到達点）

J2で上位争いできるクラブ

【事業領域】

- ・ 平均入場者数
5000人へ
- ・ 事業規模9億円へ
- ・ スタッフが誇りを持って
働き続けられるクラブへ



【チーム・アカデミー】

- ・ 練習環境の整備
(J1ライセンスの取得)
- ・ アカデミーからトップチーム
の主軸となる人材の輩出
- ・ スクール生、Jr.ユース選手、
ユース選手が憧れ、誇りを
持てるクラブへ

【事業領域】

- ・ 地域密着型クラブとして、地域課題の解決、地域の活性化に貢献し、「恩送り」できるクラブになります。

【チーム・アカデミー】

- ・ 地域に根付いた育成型クラブとして、地域の子供たちが憧れ、誇りを持てるクラブになります。



補足1) 理念づくりの背景【創業、成長、停滞、変革】

- 2006年、創業メンバーたちの「Jリーグ理念に深く賛同し、ここ香川県にJクラブを作る」という強い決意と覚悟のもと、「カマタマーレ讃岐」のJリーグへの挑戦が始まりました。
- そして2014シーズンから念願のJ2クラブとなり、2018シーズンまでの5シーズン、J2で戦いました。
- 2019シーズン、J3に降格し、1年でのJ2復帰を目指しましたが、最終成績14位、集客ランキングでも9位に終わりました。
- 私たちは、ここ香川県にあるJクラブとして「カマタマーレ讃岐」らしさとは何かを考え、それを追求することが、地域の皆様に必要とされ、愛されるクラブへの変革の第一歩になると考え、ここに「クラブ理念」をまとめました。



補足1) 理念づくりの背景【文化的背景】

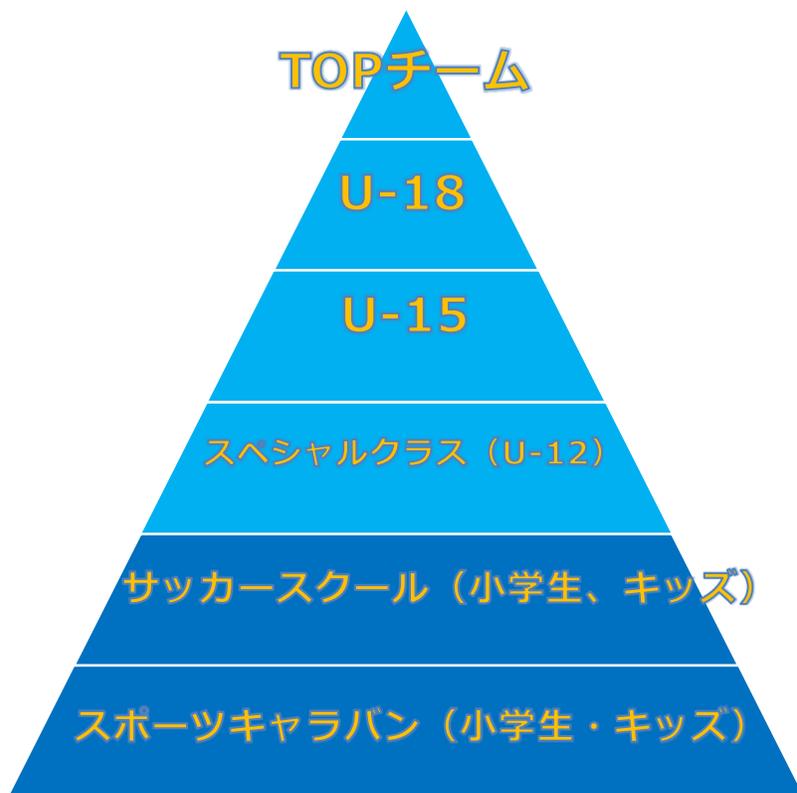
・香川県にはお遍路文化があります。香川県の人たちには、1400kmにも及ぶ巡礼を完遂しようとするお遍路さんの覚悟、決意に対し、物質的、精神的にサポートするお接待の精神があります。それは単なる奉仕ではなく、自分の代わりに参拝してもらうことで自分も功德を積もうとする想い、一緒にことを成し遂げようとする想いがあります。そして、そこには、立場を越えて相手を思いやり、互いに感謝する気持ちがあります。

・私たち、カマタマーレ讃岐は、ここ香川県で、クラブに関わるすべての人たちと一緒に、より高みを目指して、ともに戦い、喜びや悲しみを分かち合うクラブになりたいと願っています。



補足2) 2019アカデミー活動レポート

■ 競技組織



U-18 (高校生年代)



U-15 (中学生年代)



スペシャルクラスU-12
(小学生年代)



サッカースクール
(小学生年代)



2019シーズン ユース(U-18)

■ユース(U-18)紹介



所属選手：34名(カマタマーレ讃岐U-15出身23名)
うち、香川県出身23名



■主な戦績

□高円宮杯プリンスリーグ四国

- ・四国に所属する10チームのリーグ戦

昨シーズン県リーグから昇格し、今シーズン初参戦！

→ **4位** 9勝4分5敗 33得点24失点

□Jリーグユース選手権大会(全国大会)

- ・Jクラブ48+地域代表4チームによるトーナメント戦
1回戦には200人以上の方に応援していただきました！

U-18史上初の1回戦突破！

→1回戦 VS FC岐阜ユース

00-0 (延長戦 1-1) PK戦5-3

→2回戦 VS 浦和レッズユース

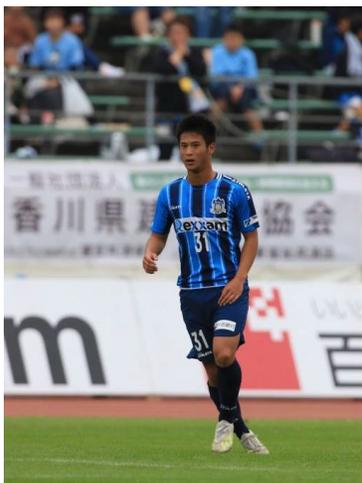
●0-1



2019シーズン ユース(U-18)ピックアップ①

■ 武下 智哉 選手 (丸亀市出身)

生年月日：2002年5月7日 (17歳)



□ 所属チーム

綾歌少年サッカークラブ → カマタマーレ讃岐U-15

→ カマタマーレ讃岐U-18

□ 選抜歴

2015 U-13 Jリーグ選抜 2016 U-14 Jリーグ選抜

2018 U-16香川県国体選抜 2019 U-17四国トレセン

□ プレーの特徴

フィジカルとスピードを活かした対人の強さが特徴のサイドアタッカー

□ トップチームデビュー

2019年9月に二種登録され、同年のJ3リーグ第27節ガンバ大阪U-23戦でJリーグデビューを果たした。

(カマタマーレ讃岐史上最年少記録の17歳5ヶ月で出場)

J3リーグ第29節FC東京U-23では先発出場を果たした。

2019シーズン 3試合出場



2019シーズン ユース(U-18) ピックアップ②

■ 第74回国民体育大会香川県選抜が全国大会で**史上初のベスト4！！**



**カマタマーレ讃岐U-18から選手10名(16名中)と、
監督としてU-18の石田英之監督が選出！！**

四国予選優勝で全国の舞台へ

vs徳島県 ○2-1

得点者：小山(U-18)、岩佐(U-18)

vs愛媛県 △0-0

vs高知県 ○3-0

得点者：江内谷(U-18)、小山(U-18)、岩佐(U-18)

国体本選（全国大会）

1回戦 vs北海道 ○1-0 得点者：岩佐(U-18)

2回戦 vs熊本県 ○1-0 得点者：川田(U-18)

3回戦 vs鹿児島県 ○2-0 得点者：富永・小山(U-18)

準決勝 vs広島県 ●0-2

3位決定戦 vs山口県 ●0-1



2019シーズン ジュニアユース(U-15)

■ジュニアユース(U-15)紹介



所属選手：15名(カマタマーレスクール出身2名)
うち、香川県出身13名



■主な戦績

□四国クラブユース新人大会

- ・24チームを4グループに分け
各グループ上位1チームによるトーナメント戦
→グループ**1位**→**準優勝**

□日本クラブユース選手権大会四国大会

- ・27チームを6グループに分け
各グループ上位1チームによるトーナメント戦
→グループシード→**第4位**

□高円宮杯2019四国クローバーリーグ

- ・10チームによるリーグ戦
→10チーム中**6位** (8勝8敗2分け)



2019シーズン ジュニアユース(U-14,U-13)

■ジュニアユース(U-14)紹介



所属選手：24名(カマタマーレスクール出身10名)
うち、香川県出身23名

■ジュニアユース(U-13)紹介



所属選手：21名(カマタマーレスクール出身8名)
うち、香川県出身20名

■主な戦績

□JリーグU-14サザンクロスリーグ

- ・Jリーグアカデミーチームのみで構成
中四国10チームによるリーグ戦
→10勝9敗1分 第5位

■主な戦績

□四国U-13サザンクロスリーグ

- ・Jリーグアカデミー、タウンクラブ、中体連で構成
四国10チームによるリーグ戦
→3位(8勝7敗3分)



2019シーズン ジュニアユース (U-15) ピックアップ

■松原 快晟 選手 (高松市出身)

生年月日 : 2004年5月24日 (15歳)

身長:181cm 体重:65kg



■プロフィール

□所属チーム

香西SSS→ カマタマーレ讃岐U-15

□選抜歴

2016 JFAフットボールフューチャープログラム トレセン研修会U-12

2017 JFAエリートプログラム (U-13)

2018 JFAエリートプログラム (U-14)

2019 U-15 (FIFA U-17ワールドカップ2021) 日本代表

1 試合先発出場 (全3試合)

2019 第74回国民体育大会 サッカー少年男子 (U-16) 香川県選抜

2019 U-15(FIFA U-17ワールドカップ2021)日本代表 **スペイン遠征メンバー**

→12/2 U-15メキシコ戦 先発フル出場 (03-0で日本代表勝利)

※アカデミー (育成組織) 初の日本代表!!



2019シーズン アカデミー カマタマーレサッカースクール

■カマタマーレサッカースクール（小学生世代）

◇県内に4会場にて開催

- ・高松西部校（高松市西部運動センター）
- ・高松東部校（高松市東部運動公園）
- ・丸亀飯山校（丸亀市飯山総合運動公園）
- ・三豊校（三豊市山本ふれあい公園・豊中サンスポーツランド）

約260名在籍



■スポーツキャラバンとは？

◇香川県内の保育所、幼稚園等に訪問し、子どもたちを対象に体を動かす楽しさを伝える

44回 参加人数 約**1,740名**

■スポーツキャラバンの目的

- ◇スポーツの価値と魅力を共有する
子どもたちの健やかな成長に寄与する
- ◇スポーツ文化の底辺の拡大
地域の活性化への貢献
- ◇地域に根ざしたクラブとしての活動展開
カマタマーレ讃岐・地域・行政の連携構築





2019シーズン アカデミー 運動部活動指導

■ 運動部活動指導とは？

◇ 香川県内の中学校、高校で部活動をしている選手たちにプロコーチの指導を行う。

33回 参加人数 約**1,000名**





補足3) 2019シーズン ホームタウン活動レポート

ホームタウンとは・・・「Jクラブと地域社会が一体となって実現する、スポーツが生活に溶け込み、人びとが心身の健康と生活の楽しみを享受することのできる町」を意味しています。（参考：Jリーグ公式HP）

カマタマーレ讃岐は高松市、丸亀市を中心とする県下全域をホームタウンに定めています。

クラブが誕生した時からホームタウン活動に取り組み、地域に根差したクラブを目指し歩みを進めてきたカマタマーレ讃岐。

Jリーグがスポーツエンターテインメント以上の価値を持つのは、各地域のJリーグクラブが地域に根差しながら、ホームタウンのシンボルとして存在するところにあります。

香川県民から発せられる熱い思いが、カマタマーレ讃岐の原動力となっています。





2019シーズン ホームタウン活動レポート

■ホームタウン活動総回数：161回

◇今シーズンも皆様のご支援、ご協力により、たくさんの皆様と触れ合う機会をいただきました。



3/3香川スイーツマラソン



5/2香川オリーブガイナース訪問



7/31津田小学校児童インタビュー



8/8老人ホーム訪問



9/24三豊市内小学校訪問



10/1赤い羽根共同募金セレモニー

■ アバターを通じた観戦体験 ～誰もが笑顔になれるスタジアム～



遠隔操作ロボットアバター

◇アバターとは・・・

自らの分身となって離れた場所でもロボットを遠隔操作して、あたかも自分自身がその場所にいるかの様にコミュニケーション等行えるカメラ付きロボット

◇11月17日 VS相模原SC戦で高松市内の障がい者支援施設とPikaraスタジアムを結び、試合観戦を行いました。

◇身体的障がい等様々な理由でスタジアムに行きたくても行けない方にアバターを通じてスタジアムの雰囲気をもっと感じてもらい、**たくさんのファン・サポーターと触れ合う機会が作れたらー。新しい感動を得て、更なる笑顔を生むきっかけになる、サッカーにはそんな可能性がある**と信じ、実施しました。

◇試合は1 - 0で勝利。施設の方の大きな声援に応えることができました。



□掲出メディア

- ・NHK高松 ゆう6かがわ他
- ・KSB瀬戸内海放送 サンデーステーション内 ローカルニュース
- ・四国新聞 11/14朝刊
- ・読売新聞 11/19朝刊

カマタマーレ讃岐が目指すサッカー

株式会社カマタマーレ讃岐 ゼネラルマネージャー 上野山 信行



カマタマーレ讃岐のサッカースタイル

常に相手ゴールを目指し、
最高レベルのファーストタッチを駆使し、
ボールポゼッションを最高レベルで活用し、
そしてフェアプレーで勝つ！



ファーストタッチとは？

来たボールを止めることなく、
来たボールを意図あるワンタッチにすること
どのような(How)にするのかということ



ファーストタッチとは？

例えば、

シュートを打つ

スルーパスを狙う

相手を抜く (浮き球で相手の頭上を抜く)

相手を抜く (ラン・ウィズ・ザ・ボールで
スペースへ大きくコントロールして)

etc

意図とは？ → **考え方 (目的)**